



「十分生きた治療は受けない」と言っていた方が手術を受けた

あとで読む

【尊厳ある介護（42）】ひとの考えは変わる、プロも家族も自然に受け入れを

公開日：2018/05/08 (ソサエティ)

里村 佳子（社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長）

施設の入浴時での、できごとです。

利用者の田村さくらさん（仮名68歳）は、山中元子さん（仮名92歳）の、衣服の着脱を手伝おうとされました。

ところが、山中さんは「自分のことはできますから」と、田村さんの手をゆっくりと制止したのです。



CC BY /Horia Varlan(cropped)

すると、田村さんは腑に落ちない様子で介護スタッフに言われました。「山中さんは背中が曲がっていて、服を着るのが難しそうなので、お手伝いをしたのに」。

介護スタッフは、「お手伝いが必要であれば、私たちがします」と、お伝えしました。

それから少し経って、山中さんから「体調がすぐれないので、検査入院をします」と、申し出がありました。

そして、毅然として「もし、悪い病気があったとしても、積極的な治療や手術はしないつもりです。もう十分に生きたので思い残すことはないのです」と、言われたのです。

それを聞いた私は、山中さんらしい決意だと思いました。

山中さん以外にもそのように言われる利用者はいらっしゃいますが、「今の気持ちはそうなのだろう」と、聞いていました。

けれども山中さんの場合は、日々の生活ぶりを見ていて決意は変わらないと確信していたのです。

山中さんは、近所に息子さんがおられますが、迷惑をかけたくないという理由で、施設に入所されました。背中がかなり曲がっていますが、身の回りのことは全て時間がかかっても自分で行います。外出もシルバーカーを使用して、一人で出かけます。愚痴や悪口を言わず、自分に厳しく人に優しい方でした。

自立心が強く、何より他の人のお世話になることを嫌がられていました。私が成りたいと思っても成れそうもない高齢者の一人でした。

その後、山中さんは入院をされました。

お見舞いに行くと、何故か病状について触れず、「何十年ぶりに、お母さんの夢を見ました。今まで病気で入院したことがないからでしょうか」と、初めて聞くお母さんの話をされました。

数週間経った頃、息子さんから山中さんが手術をされ、経過は良いという報告を受けました。実は、私はその話を聞いて少し違和感を持ちました。以前お見舞いに行った時、山中さんは、手術をするとは言われなかったからです。

再度お見舞いに行くと、山中さんは「こんな年で手術をする気はなかったのですが、入院をしてお医者さんたちに良くしてもらいました。こんなにしてもらったからには生きなければと、気持ちが変わったのです。夢でまだお母さんの側にいけないと謝りました」と、いつものように笑みを絶やさず話されました。

目の前のすがすがしい姿を見て私の違和感は払拭され、その決断も山中さんらしいと思いました。

人の気持ちや意志決定は、揺らぐのは当然なのです。それなのに私は山中さんに限っては、自分で決めたことは他の人の影響を受けず貫く人だと勝手に思い込んでいたのです。

そんな先入観で、山中さんの気持ちや意志の変化を察知できなかったのです。察知できないどころか、知らず知らずのうちに、山中さんに気持ちが変わったと言えないような雰囲気を与えていたのかもしれない。

利用者が後悔しないような意志決定をするためには、気持ちは変わることもあると伝え、自分も思い込みを持たずに接することの重要性をあらためて内省しました。

山中さんは退院されて施設に戻られました。少しの間は元気に生活されましたが、なかなか体調が元に戻らず、再入院されました。

そして、入院先で召されました。葬儀に参列して拝見した最後のお顔は、夢でお母さんに会ったと話された時の山中さんと重なりました。

（注）事例は個人が特定されないよう倫理的配慮をしています。

<この連載は原則、水曜日に掲載します>

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

> [里村 佳子のバックナンバー](#)

> [トランプ大型減税、壮大な無駄に終わる恐れ](#)

> 読、産経、日経、「やむを得ない措置」と評価

> 米国のイラン核合意離脱なら、軍事紛争も

> 卓球の急造「南北統一チーム」はかなり変だ

プロフィール

最近の投稿



里村 佳子(社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長)

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。2017年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。

いいね! 0

シェア 0

ツイート

G+

LINE LINEで送る

[この記事編集](#)

ソクラとは

FAQ

編集長プロフィール

利用規約

利用案内

プライバシーポリシー

著作権について

特定商取引法に基づく表示

メーカーソクラ

お問い合わせ

お知らせ一覧

コラムニストプロフィール

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved